



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東 大

上場会社名 フジッコ株式会社

コード番号 2908 URL <http://www.fujicco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福井 正一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長

(氏名) 岩井 邦夫

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

TEL 078-303-5921

平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	25,829	2.0	1,538	16.6	1,647	14.1	947	18.4
23年3月期第2四半期	25,314	6.7	1,319	10.7	1,444	10.1	800	10.6

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 1,029百万円 (71.8%) 23年3月期第2四半期 599百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	29.58	—
23年3月期第2四半期	24.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	62,974	51,898	82.3
23年3月期	61,924	51,351	82.8

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 51,837百万円 23年3月期 51,289百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年3月期	—	15.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,500	1.3	3,350	0.9	3,600	0.6	2,000	10.9	62.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	34,991,521 株	23年3月期	34,991,521 株
24年3月期2Q	2,966,232 株	23年3月期	2,964,382 株
24年3月期2Q	32,025,871 株	23年3月期2Q	32,035,536 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
3. 補足情報	11
(1) 販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による供給面の制約が和らぎ、持ち直しの動きが見られます。

食品業界におきましては、供給面の制約が概ね解消される一方で、消費者の買い控えの傾向が続いていますが、その影響は少しずつ和らいでおります。

このような環境の中、当グループにおきましては、主力の佃煮、煮豆の強化と今後の第3、第4の柱として期待する「カスピ海ヨーグルト」や包装惣菜「おかず畑」の育成、製品価値をより一層高めるための研究開発活動に注力いたしました。研究開発活動では、「カスピ海ヨーグルト」のインフルエンザ感染後のウイルス増殖抑制作用、黒大豆ポリフェノールの肝機能改善作用等に関する学会発表を行いました。

売上面におきましては、主な製品分類別の内、豆製品が前年同四半期実績を下回ったものの、昆布製品、そう菜製品、デザート製品、その他製品が前年同四半期実績を上回りました。

昆布製品は、佃煮昆布「ふじっ子煮カップ」が堅調に推移しました他、パスタやサラダ等のメニュー提案が功を奏し塩吹昆布が伸長いたしました。

豆製品は、煮豆市場が縮小傾向にあるなか苦戦を強いられましたが、おまめさんブランドの強化や豆の新しい食シーンを開拓する商品開発を進める等、今後のニーズの掘り起こしに向けた活動に着手しております。

そう菜製品は、包装惣菜「おかず畑」が大きく伸長いたしました。店頭での売場作りに力を入れて包装惣菜のコーナー（おかずステーション）化を進めるとともに、近畿圏と首都圏でTVCMを放映し、おかずステーションとの相乗効果で売上を拡大させております。

デザート製品は、ロどけの良いゼリーに果物の果肉とナタデココがたっぷり入った「フルーツセラピー」の売上が好調に推移しましたことに加え、酸味が少なく独特の粘りが特徴の「カスピ海ヨーグルト」が大幅に伸長いたしました。「カスピ海ヨーグルト」については、料理にも活用していただけるようドレッシングの素を添付するキャンペーンを実施いたしました。また、健康効果を広く知っていただくため、「カスピ海ヨーグルトフォーラム」を開催しました。

その他製品は、「カレーうどんの素」や「麻婆豆腐の素」等の調味食品が堅調に推移しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は258億29百万円（前年同四半期比2.0%増）となりました。

利益面においては、主力の「ふじっ子煮カップ」や「フルーツセラピー」の売上が伸長したことに加え、継続的なコストダウンに取り組みましたこと等から、営業利益は15億38百万円（前年同四半期比16.6%増）、経常利益は16億47百万円（前年同四半期比14.1%増）、四半期純利益は9億47百万円（前年同四半期比18.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10億49百万円増加し、629億74百万円となりました。

資産の部では、流動資産は、前連結会計年度末に比べ18億円増加し、299億1百万円となりました。これは主に現金及び預金が増加したことによるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ7億50百万円減少し、330億72百万円となりました。これは主に有形固定資産やソフトウェアの償却が進んだこと等によるものです。

負債の部では、流動負債は、前連結会計年度末に比べて7億13百万円増加し、93億74百万円となりました。これは主に短期借入金の増加によるものです。固定負債は、前連結会計年度末と比べて2億10百万円減少し、17億1百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したことによるものです。

純資産の部では、純資産合計は前連結会計年度末に比べ5億47百万円増加し、518億98百万円となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の82.8%から82.3%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ13億50百万円増加し、132億59百万円（前年同四半期末は124億55百万円）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を16億24百万円、減価償却費を11億70百万円計上する一方で、法人税等の支払が7億6百万円ありました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは、22億54百万円の収入（前年同四半期は17億43百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入等により、10億47百万円の支出（前年同四半期は5億48百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済及び配当金の支払い等による支出がある一方で、短期借入金の増加による収入がありました。この結果、財務活動によるキャッシュ・フローは1億43百万円の収入（前年同四半期は1億33百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当グループを取り巻く事業環境は、依然として厳しい状況が続いておりますが、当期の連結業績は概ね当初（平成23年3月期決算発表時）の予想どおり推移すると見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表等
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,208	15,159
受取手形及び売掛金	7,847	7,773
商品及び製品	676	759
仕掛品	427	515
原材料及び貯蔵品	5,226	4,876
繰延税金資産	466	429
その他	249	389
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	28,101	29,901
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,053	29,011
減価償却累計額	△18,922	△19,235
建物及び構築物（純額）	10,130	9,776
機械装置及び運搬具	19,183	19,225
減価償却累計額	△15,911	△16,297
機械装置及び運搬具（純額）	3,271	2,927
工具、器具及び備品	1,700	1,712
減価償却累計額	△1,386	△1,411
工具、器具及び備品（純額）	313	301
土地	13,427	13,427
建設仮勘定	9	53
有形固定資産合計	27,153	26,486
無形固定資産		
ソフトウェア	1,073	864
その他	132	126
無形固定資産合計	1,206	990
投資その他の資産		
投資有価証券	4,085	4,280
繰延税金資産	716	663
その他	692	688
貸倒引当金	△31	△37
投資その他の資産合計	5,462	5,594
固定資産合計	33,823	33,072
資産合計	61,924	62,974

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,841	4,001
短期借入金	207	1,043
未払金	2,810	2,616
未払法人税等	739	642
未払消費税等	178	188
賞与引当金	434	441
預り金	217	219
その他	231	221
流動負債合計	8,661	9,374
固定負債		
長期借入金	210	—
繰延税金負債	4	4
退職給付引当金	1,245	1,231
役員退職慰労引当金	451	465
固定負債合計	1,911	1,701
負債合計	10,573	11,075
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,566	6,566
資本剰余金	7,302	7,302
利益剰余金	40,546	41,013
自己株式	△3,197	△3,198
株主資本合計	51,218	51,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71	153
その他の包括利益累計額合計	71	153
新株予約権	61	61
純資産合計	51,351	51,898
負債純資産合計	61,924	62,974

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	25,314	25,829
売上原価	15,587	16,048
売上総利益	9,726	9,780
販売費及び一般管理費	8,406	8,241
営業利益	1,319	1,538
営業外収益		
受取利息	14	3
受取配当金	57	59
受取賃貸料	25	27
その他	37	26
営業外収益合計	135	117
営業外費用		
支払利息	8	6
その他	2	2
営業外費用合計	10	9
経常利益	1,444	1,647
特別利益		
固定資産処分益	—	0
投資有価証券売却益	33	—
その他	0	0
特別利益合計	33	0
特別損失		
固定資産処分損	18	16
投資有価証券売却損	52	—
投資有価証券評価損	8	0
その他	—	6
特別損失合計	80	22
税金等調整前四半期純利益	1,397	1,624
法人税、住民税及び事業税	548	640
法人税等調整額	48	36
法人税等合計	597	677
少数株主損益調整前四半期純利益	800	947
四半期純利益	800	947

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	800	947
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△200	82
その他の包括利益合計	△200	82
四半期包括利益	599	1,029
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	599	1,029
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,397	1,624
減価償却費	1,127	1,170
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11	7
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5	△13
受取利息及び受取配当金	△72	△62
支払利息	8	6
固定資産処分損益(△は益)	18	16
投資有価証券売却損益(△は益)	19	—
売上債権の増減額(△は増加)	△85	73
たな卸資産の増減額(△は増加)	300	178
仕入債務の増減額(△は減少)	65	159
未払金の増減額(△は減少)	△122	△112
未払消費税等の増減額(△は減少)	△47	9
預り金の増減額(△は減少)	△6	2
その他	△170	△158
小計	2,415	2,902
利息及び配当金の受取額	69	62
利息の支払額	△3	△4
法人税等の支払額	△738	△706
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,743	2,254
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300	△900
定期預金の払戻による収入	300	300
有形固定資産の取得による支出	△596	△360
有形固定資産の売却による収入	6	0
無形固定資産の取得による支出	△58	△27
投資有価証券の取得による支出	△13	△61
投資有価証券の売却による収入	123	2
貸付金の回収による収入	1	0
その他	△11	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△548	△1,047
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	730	730
長期借入金の返済による支出	△147	△104
自己株式の売却による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△1	△2
配当金の支払額	△448	△480
財務活動によるキャッシュ・フロー	133	143

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,328	1,350
現金及び現金同等物の期首残高	11,127	11,908
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,455	13,259

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円)

製 品 分 類	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年 4月 1日 至平成22年 9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成23年 4月 1日 至平成23年 9月30日)		増減額	(参考) 前連結会計期間 (自平成22年 4月 1日 至平成23年 3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
昆布製品	8,369	33.1%	8,546	33.1%	177	17,441	33.0%
豆製品	6,588	26.0%	5,942	23.0%	△645	13,980	26.5%
そう菜製品	5,280	20.9%	5,923	22.9%	643	10,647	20.2%
デザート製品	3,070	12.1%	3,379	13.1%	309	5,407	10.2%
その他製品	2,005	7.9%	2,036	7.9%	30	5,317	10.1%
合 計	25,314	100.0%	25,829	100.00%	515	52,794	100.0%

(注) 増減額は、当第2四半期連結累計期間と前第2四半期連結累計期間との比較で表示しております。